

AIJ & JSCE

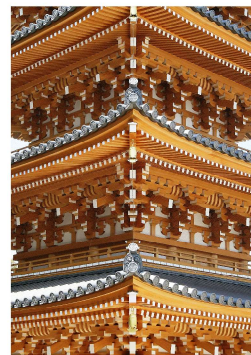
2015 四国の建築家の講演会

「法然寺五重塔」

大成建設設計本部専門技術部伝統建築設計室室長
松尾浩樹

コンセプト

法然寺は、初代高松藩主松平頼重公が江戸時代初めに四国讃岐に開いたお寺で、その伽藍配置は極楽浄土をこの世に具現化したものと言われている。五重塔建立という頼重公の夢を、法然上人が亡くなって 800 年目にあたる 2011 年に実現することができた。五重塔の計画にあたり、法然寺の歴史と伝統を踏まえその理念である「開かれた寺院」を体現する環境づくりをテーマに、「おおらかでどっしりとした五重塔」を目指した。古より受け継がれてきた木造伝統様式に現代技術を加えた和様・総檜造・本瓦葺の五重塔とし、その高さを法然上人 800 年遠忌に合わせて 800 寸に設定した。こうして完成した五重塔は、開山より 340 年の歴史を今に伝える法然寺伽藍にふさわしい佇まいと周辺堂宇との調和を見せている。



組物



ライトアップ



講演者プロフィール

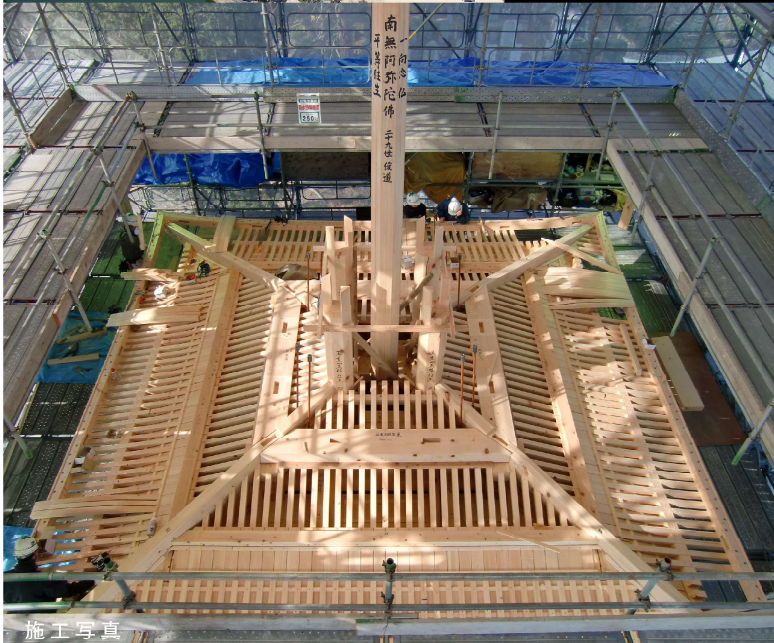
松尾浩樹

大成建設設計本部専門技術部
伝統建築設計室室長
1963年佐賀県唐津市生まれ
九州大学大学院修了、1988年大成建設入社
専門分野：歴史・伝統建築

受賞歴：

- ・2008年 BELCA賞「東京カテドラル 聖マリア大聖堂」(ロングライフ部門)
- ・2010年度香川県建築士会特別賞「法然寺五重塔」
- ・2012年高松市美しいまちづくり賞、照明学会照明普及賞「法然寺五重塔」
- ・2014年度日本建築学会作品選集「法然寺五重塔」

空撮



施工写真

- 日時 2015年10月3日(土) 14:00~16:00 (開場13:30~)
- 会場 仏生山来迎院法然寺 本堂 (香川県高松市仏生山町甲3215)
- 定員 100名 受講料無料(当日受付先着順)
- 講演者 松尾浩樹 (大成建設設計本部専門技術部伝統建築設計室室長)
- 問合せ AIJ & JSCE 香川事業実行委員会 日本建築学会四国支部香川支所 (担当：中島・宮本) TEL : 087-864-2150 ・ FAX : 087-864-2188 E-mail : aij @ eng.kagawa-u.ac.jp



- 主催 (社) 日本建築学会四国支部香川支所
- 共催 (社) 土木学会四国支部香川地区
- 後援 香川大学工学部